

2025年 3月10日
筑波観光鉄道株式会社

筑波山の旅を、より安全で快適に 多言語表記のデジタルサイネージを導入いたしました

京成グループの筑波観光鉄道(本社:茨城県つくば市、社長:枝村 誠)では、観光庁の訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金(インバウンド受入環境整備高度化事業)を活用し、多言語での施設・利用案内をはじめ、周辺施設案内などの情報発信を行うデジタルサイネージをケーブルカー・ロープウェイの各施設に計4台導入いたしました。

デジタルサイネージは、ケーブルカーやロープウェイの運行状況や運行時間に加えて、観光施設や飲食店等筑波山周辺の包括的な観光案内をリアルタイムで表示し、初めて訪れるお客様にも、快適に筑波山を観光いただけるようご案内いたします。

今後もデジタルサイネージを活用した情報発信を強化し、つくばの特色を反映したコンテンツや、お客様のニーズに応じた多彩な情報を提供することで、より安全で快適な筑波山観光の実現を目指していきます。

本件の概要は、次頁の通りです。



【タッチパネル式デジタルサイネージ】



【筑波山ケーブルカー&ロープウェイ】

「デジタルサイネージの導入」について

1. 場 所 ・ 台 数
- ◆タッチパネル式デジタルサイネージ
ケーブルカー・ロープウェイ
山麓駅施設 計2台
 - ◆壁掛け式デジタルサイネージ
ケーブルカー・ロープウェイ
山頂駅施設 計2台
2. サ イ ズ 55インチ液晶ディスプレイ
3. 配 信 内 容
- (1)当社施設利用案内、ケーブルカー&ロープウェイ運行情報
 - (2)筑波山観光周遊案内
 - (3)周辺観光施設情報
- ※タッチパネル式デジタルサイネージは、日本語、英語、簡体字、繁体字、韓国語の言語選択が可能。壁掛け式デジタルサイネージは日本語、英語を併記した情報を随時発信。



【タッチパネル式デジタルサイネージ マップ画面】



【壁掛け式デジタルサイネージ】

以 上